

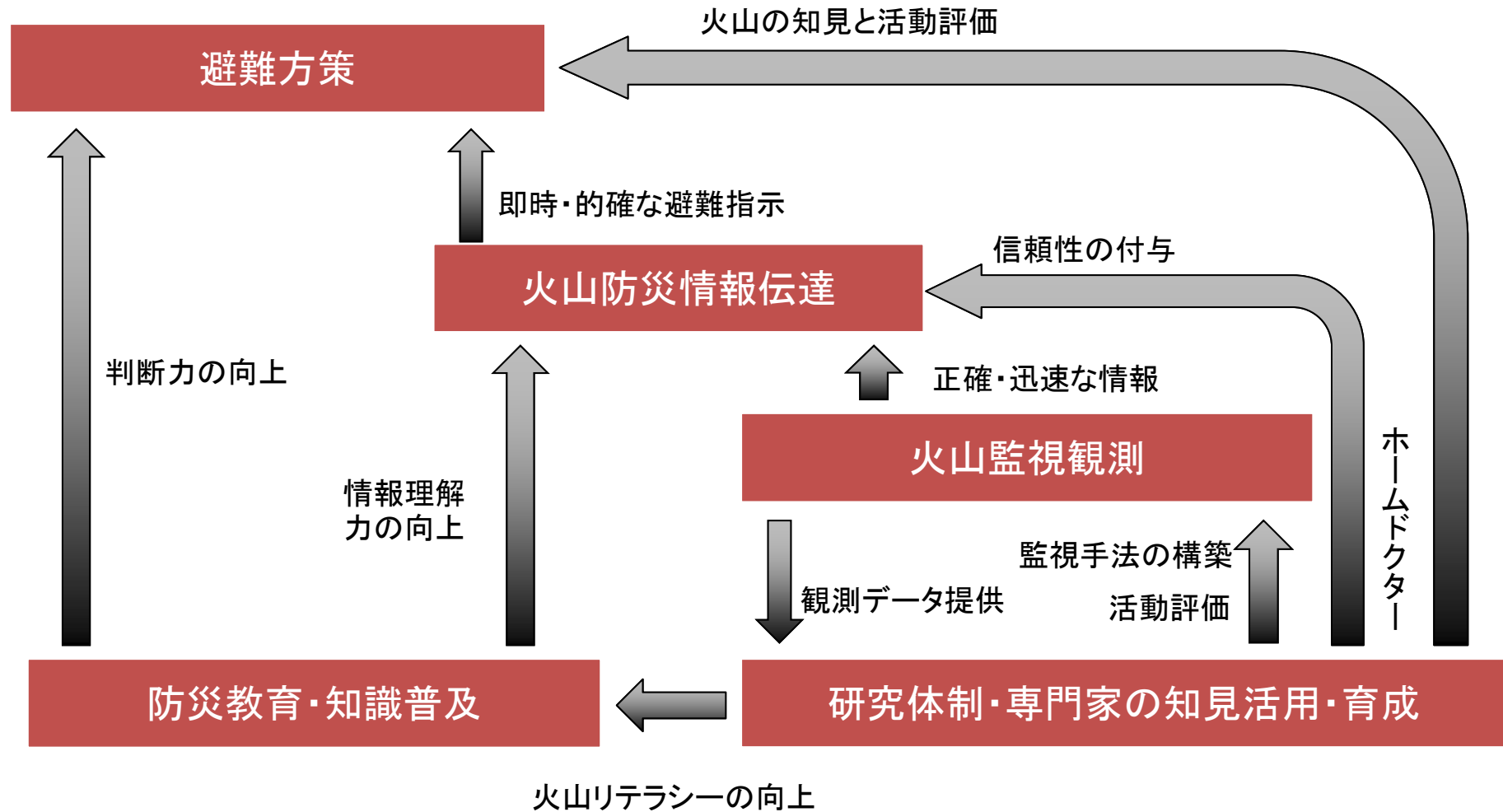
火山防災の現状に関して

山岡耕春

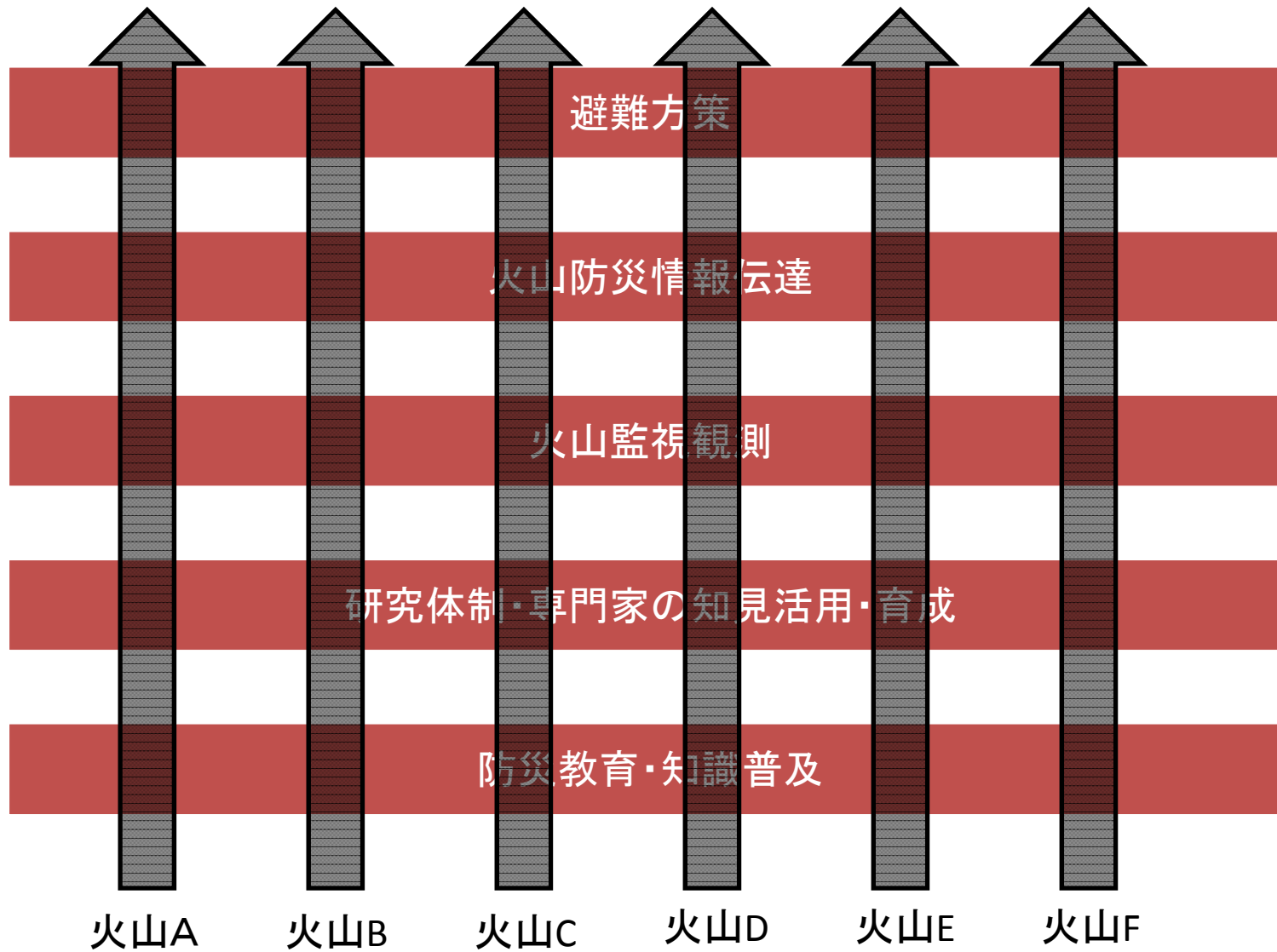
ワーキンググループでの論点

1. 火山監視観測体制について
2. 火山防災情報の伝達について
3. 火山噴火からの適切な避難方策について
4. 火山防災教育や火山に関する知識の普及について
5. 火山研究体制、火山専門家の知見の活用、育成について
6. 火山防災対策を推進するためのしくみについて

各論点間の相互関係



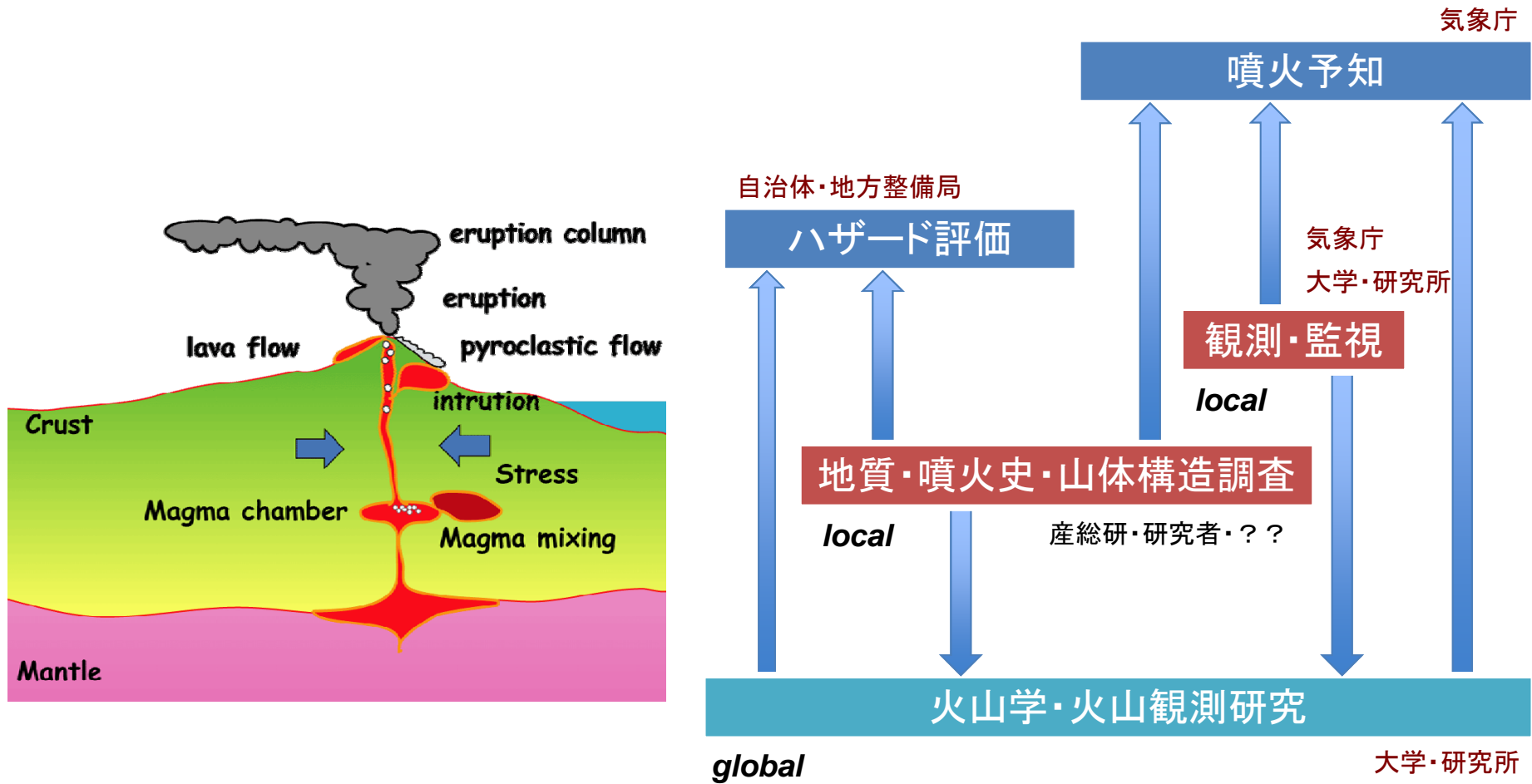
火山防災協議会の役割



現状の問題点

- 火山の調査研究・監視・防災まで、全体を見渡した戦略的コーディネイト力の欠如
 - ✓ 基礎研究 = 大学・研究所
 - ✓ 監視 = 気象庁
 - ✓ 砂防・インフラ = 地方整備局
 - ✓ 地域防災 = 協議会・市町村・県
- それぞれの火山において、戦略的に防災対策を進めるのは本来は協議会の役割だが、予算がない。
 - 監視・噴火予知能力の向上
 - ハザード評価の向上
 - 火山毎の基礎的調査・研究の推進

個々の火山におけるハザード評価・噴火予知のための 基礎的調査の必要性



まとめ

- 個々の火山における調査から防災対策までの総合的な企画・推進をする組織が必要
 - 都道府県やホームドクターとしての専門家が支援する火山防災協議会の役割であろう
- 実施内容の水準を保つための評価が必要
 - 調査結果の水準
 - 防災対策の水準
 - 地震本部の役割か？